

ペーパードール作り

7月14日(水)中央公民館において、交流委員会は今年度最初の行事として日本の伝統工芸の一つである折り紙人形を包装紙を使って作りました。

参加者は26名(内外国人16名)です。日本語教室の生徒さんも初参加の人を含めて多数来てくれました。

講師は折り紙歴8年という方で、各団体や施設などにボランティアで色々な人達に教えています。



講師の説明に入り、みなさん熱心に聞き入っていました。折り始めてしばらくすると余裕が出てきたのか、楽しそうにグループの人とお喋りをしながら作っています。私達委員も一緒にお手伝いさせていただき仕上げていきました。

このような雰囲気があちらこちらで見られ、これも国際交流の一つと感銘しました。

そして皆さんは予定時間をオーバーしましたが、完成させて帰ることができ、嬉しそうな顔を見てホッとしました。

交流委員 伊藤ヨシ子



外国人のための「日本の家庭料理」教室

7月16日(金)薬円台公民館で、“安くて簡単に作れる家庭料理を一緒に作ってみましょう”という教室が開かれました。これは日本人の夫を持つ日本語教室の学習者の方々の日本料理の講習会を開いてほしいという要望に応じて姉妹都市委員会が音頭をとり、大嶋京(おおしまけい)講師、日本語教室の教師その他の方々の協力のもとで開催されたものです。参加者は外国人16名、ボランティア10名で、出身国は中国を最多にフィリピン、ペルー、メキシコ、ウクライナ、ブラジルとたきにわたりました。



日本時間通りにはいかず、定刻10時に集まったのは4名で予定より20分遅れで始まりました。

メニューはサバの味噌煮、肉じゃが、ホウレンソウの胡麻和え、味噌汁、ピースご飯で、講師やボランティアの巧みな進行とさすが殆どの参加者が主婦ということもあり、正午には皆さん揃って出来栄を味わえるほどに、スムーズに作業は進みました。



レシピは日本語、中国語、英語で用意されたので、皆さん、それを見ながら熱心に説明を聞き、中にはメモを取っている方もいました。

久しぶりに出会えた同国人との母国語でのおしゃべりに、また料理やお互いの姿を携帯電話での撮影に忙しい人々もいました。和気あいあいとなごやかな雰囲気の中で時間が過ぎていき、今後も予定されている2回目、3回目の教室を楽しみにしているという声に、スタッフ一同励まされました。

姉妹都市委員 中川純子



平成22年度国際交流協会総会

5月20日(木)、午後3時より、市役所大会議室において、参加者およそ60名のもとで開催された。田村会長の挨拶の後、小石副会長が議長に選出され、平成21年度事業報告、収支決算報告が承認され、22年度事業報告、収支予算が可決された。



会長と日野総務委員長の報告によると、近年船橋市在住の外国人の増加が著しく、本年4月1日現在、90ヶ国、11,774名だったが、5月1日には11,976名に増加(最近では特に20年度1年間で902名増えた)という具合で、協会としての責任も重く、多文化共生事業(外国人へのサービス提供と会員参加のイベント)のさらなる充実がもめられる状況である。それに対応するために、協会の体質強化および事業内容の充実を図る必要があるとして、その方針が示された。

今年度の活動の重点事項として、幾つか挙げてみる。

5月20日開催の総会において、上程した各議案は下記の通りすべて承認されました。

*総会資料は協会のホームページをご覧ください。

URL: www.fira.jp

第1号、2号議案(21年度事業報告・収支決算)…承認
第3号、4号議案(22年度事業計画・収支予算)…承認
第5号議案(22、23年度理事及び役員) ……………承認

22年度方針の特記事項(第3号議案の補足説明)

1. 調査研究委員会を総務委員会に統合し、7委員会体制になります。
2. 総合企画会議を新たに設置します。
 - (1) 設置の目的
協会運営の基本的事項(中・長期運営方針等)と重点目標達成に関わる事項の審議。
 - (2) 会議の構成員
田村会長・委員(副会長5名と総務委員長及び会長の指名する者)。
 - (3) 運営会議との関係

総会 — 理事会 — 総合企画会議 — 運営会議

- *外国人相談窓口の相談員のレベルアップ。
- *日本語教室の学習支援者のレベルアップ(文化庁の委託事業として)。
- *"YOKOSO" to FUNABASHI に災害マメ知識(仮称)を掲載。
- *過去の災害時外国人サポート養成講座に加え、さらに上のレベルの講座を開催。
- *ホストファミリーおよび外国人(国別)のネットワークの立ち上げ。 広報委員 中川



☆印は新任、()は、担当委員会

会長	田村 泰一
副会長	荒谷 美枝子(姉妹都市委員会)
副会長	小石 裕久(広報委員会)
副会長	☆宮 慶助(日本語教室委員会・外国人相談窓口委員会)
副会長	☆金子 研一(総務委員会)
副会長	☆嘉規 洋(交流委員会・ようこそ委員会)
監事	相澤 友夫
	☆目崎 誠

理事については、総会資料14頁を参照ください。

参 考：委員会委員長 ☆印 新任

総務委員会	☆日野 隆
姉妹都市委員会	梁瀬 厚子
交流委員会	☆荒谷 晃行
広報委員会	☆塚原美都恵
日本語教室委員会	岩田 博之
ようこそ委員会	清河 昌之
外国人相談窓口委員会	野上 絃子

総務委員 日野 隆

国際交流協会行事日程表

7月1日～11月18日	日本語学習支援者養成講座Ⅱ (全14回)
8月28～29日	避難所宿泊訓練(災害時外国人サポーター養成講習会)
9月29日	日帰り研修会と散策(水元公園と葛飾柴又)
10月	日本料理教室 パート2
10月5日～12月10日 火・金曜の週2回	「短期速習日本語講座」第2回(全18回 勤労市民センター9:30～11:45)
12月	カリフォルニア州立大学イーストベイ校派遣留学生募集開始 世界の料理研究(中国を予定)
1月	日本料理教室 パート3

外国人の働いている職場訪問 (第4回)

ドイツ

ボッシュ パッケージング テクノロジー株式会社

以前、我が家に今回取材先のBOCSHの研修生を招きホームパーティーを開いた時、手土産に頂いた花かざりに結婚式用のご祝儀袋がのせてある、どうしたのだろう!「きれいだったから」という、みんなのサインも書いてあり、本当に心温かいプレゼントでした。



そんな考え方の違う人々がいる取材先に向かった。西浦工業団地にドイツを本社とするBOSCH社に入るとそこには創業者の「ロバート・ボッシュ」の胸像が迎えてくれる。世界で今日も続々と生まれる車と産業機器、その隔々まで当社の最先端技術が息づいていると人事部の河野さんに説明を受ける。

最初に正社員として、財務部を担当しコントローラーの仕事を受け持つ、ゴアコルさんにお話を伺いました。フランス人で2005年に来日、この会社で1年という彼は日本語も全く不自由がなく応じてもらえるので嬉しい。この会社に入る前は日本の文化的書籍の出版社にいたこともあって、当面の目標は

新聞を自由に読めるようになりたいとか…。次に、6ヶ月間の研修生として、ドイツから来ているフランセスカさんは6ヶ月ごとに入れ替わるドイツの大学院生10名の研修受入れや、ドイツ本国へ送る報告書のサポートを人事部でしています。



休みには京都、奈良へと日本の旅を楽しむそうで、「身近な所ではお台場の景色が好きですね〜」とにっこり。3人目はチェニジア生まれのメディさん、彼は電気工学科大学院生で包装機全般の自動機械制御図面を製作しています。休日には房総半島に出かけ



たり、サイクリングで袖ヶ浦まで行くという行動派である。

日本の好きな食べ物はお聞きしたら、三人とも「お寿司が大好き」という「それから宴会も」と楽しい話はつきませんでした。

広報委員 田嶋

アメリカン/セブカわいい夏祭りやってきました!



名前はエミリ美悠ハラタニ、6歳。彼女のお母さんは今から約24年前の小学校6年の時に、船橋の豆使節団の一員としてハワイを訪問したことがあり

ました。日本の高校を卒業と同時に、カルフォルニア州ヘイワード姉妹都市委員長であるツルモト夫妻宅に滞在し、チボリー大学に入学。その後日系3世のハラタニさん(ご主人)と結婚。その長女が、エミリちゃん、日系4世の純粋な日本人で



す。日本人として誇りを忘れないためにという教育方針もあって、夏休みを利用して6月から船橋市の大穴北小学校で日

本体験中。1年1組の時間割にそって勉強しています。

たまたまこの日は天気も良く、1年3クラス合同のプールの日でした。歩いたり、潜ったり、水掛け合ったりと仲間とはしゃぎながら楽しんでいました。プールの後は子供たちの大好きな給食の時間。「今日の給食はどう?」とエミリちゃんに尋ねると「食べられるかわかんない」と少々不安げでした。

7月21日まで学校に通うということですが、その間日本をいっぱい体験して日本とアメリカの交流のかけ橋となってほしいと思います。 広報委員 塚原



ALT (Assistant Language Teacher)の紹介(第5回)

ダイナ・バーボン(Dhyana Barbon)先生

今回はフィリピンからお見えのダイナ先生の登場です。薬円台小学校で全校生徒に英語を教えています。



先生はフィリピン、ミンダナオのご出身。昨年4月に赴任され、その前はミャンマー、ベトナムで英語を教えてきた国際人でもあります。

「先進国日本で英語を教える機会を得たことは、幸運であり又名誉なことです」とその喜びを語られました。日本の生徒の印象は、「前向きに取り組む進歩も著しく、どんどん自信を深めていることが感じられ、教えがいがあふれる」とのことです。

「熱心な指導と明るい性格とが相まって生徒から慕われている」とは、コーディネーターの酒井先生の評です。

5年生の授業。米・英・露・仏・独等15カ国の国名



の英語読みを学習します。最初はゆっくりだが徐々に早くなり、また順番もランダムになっていきます。生徒はダイナ先生のたくみなリードにのせられて大きな声でその発音をまねます。ゲームも取り入れられ45分間はあっという間に終了です。

全員が元気良く目を輝かせながら取り組んでいる姿に感動を覚えました。このような教育を受けた子どもたちが大人になる時、日本人の国際感覚は一段と飛躍するのではとの期待感で胸が膨らむ授業でした。 広報委員 磯部

NPO法人 横須賀国際交流協会を訪問して

3月25日、田村会長を始め7人でNPO法人「横須賀国際交流協会」を訪問しました。横須賀市側からは藤井理事長、松本国際交流課長、伊藤事務局長を含め5人が参加し、協会の概要について説明がありました。支援・啓発・交流・国際貢献・委託各事業や姉妹都市との高校生の派遣と受け入れ事業等活発な活動が行われていま



す。特に国際貢献事業として、ネパールコーヒーのフェアトレード商品の販売が行われています。委託事業のひとつ、高校生の派遣については、市の歴史・文化・国際プロトコル・マナー等を講習を通して習得した後、2週間の派遣、帰国後は報告書の提出や市の事業にも協力していくことが求められています。また多文化共生事業として他機関と連携を計り、特にカレーフェスティバルや異世代交流のイベントには多くの参加者が集まっています。基地の街として外国人の受け入れがスムーズな点や事業での受益者負担、行政との連携等工夫した事業を展開しているのがNPOの強みかも知れません。災害時に向けた取り組みとして外国人ハンドブックの作成やデータ保管「オンラインストレージ」の導入や外国人との交流等、参考になることが多かった訪問でした。地域に合った取り組みを船橋市も心がけ、知恵を出した国際交流を考えていけたらと思います。 総務委員 渡邊千代美

お知らせ

○大地震発生！避難所へいこう！

直下型地震の発生を想定し、小学校体育館での避難所宿泊体験を実施します。実際に、避難所となる学校の体育館を使用した避難所生活を体験することで、いざという時の備えを考える機会にしましょう。

体験訓練では、応急救済法の指導や炊き出し、市の総合防災訓練への参加も予定されています。

日程：8月28日(土)～29日(日) 会場：船橋市立湊町小学校

費用：無料 対象：外国籍市民とその家族 先着50人

申込み：参加者全員の氏名、年齢、代表者の住所、連絡先を明記して事務局へFAXで申込み

○船橋市国際交流市民のつどい(仮称)の開催延期について

標記の件について、企画発表後内容について論議した結果、「協会の将来の為に市内の有力企業団体もお招きして支援の輪を拡げるべき」との結論に達しました。この準備の為、開催時期を延ばすこととしました。後日詳細を明示します。ご了承ください。

国際交流協会会長 田村泰一

おとがき

余りにも早く感じられた今年の春でしたが、乱高下する気温変化に弄ばれた御仁もさぞ多かったろうと思います。

寒さの残る中で、恐る恐る開花した桜も冷たい雨と強風に見舞われて早々と散った感じでした。

改めて、幼児期と比べて明確な四季感が近年は感じられないようですが、これも地球温暖化に加担(?)している我々人類へのしっぺ返しかも知れません。世界的にも異常気象の余波なのか、被害続出の感さえあります。しかし、アメリモマケズカゼニモマケズで頑張りぬきたいものです。協会も無事年次総会を終え新体制の下でより有為な活動が展開されるよう折りりたいものです。

(K.I.) 5月下旬記